

# 歴史を引き継ぎ、未来へと漕ぎ出すための 蒲生のアイデンティティ・ファクトリー



## 業務実施方針

### 蒲生の「アイデンティティ・ファクトリー」を目指す

#### 特に重視する配慮事項

蒲生は1200年以上も昔から蒲生駅と言われ大隅と薩摩を結ぶ公駅として重要な位置にありました。蒲生の地は、今も鹿児島市や霧島・川内方面への交通の要に位置しながらも、都市化の波に埋もれず**独特のアイデンティティ(個性)を維持している稀有な存在**と言えます。

私達は今回の施設を、豊かなアイデンティティを引き継ぎ未来へとつなぐための「**アイデンティティ・ファクトリー**」(≒個性や生きがい製造所)と位置づけたいと思います。

まちが市民の心の拠り所であり続けるためには、受け継いだ歴史を誇りとしつつも、**市民それぞれがその時代を生き生きと生きられることが何より重要です。**

「本施設が**市民の生活を支え、新しいアイデンティティを次々と生み出していき、市民活動の拠点となること**」を考える原点として業務を実施していきます。

#### 取り組み体制、設計チームの特徴

鹿児島で**40年以上の実績を持つ設計事務所**と、**県外も含めた多様な経験を持つ設計事務所**とが共同でプロジェクトを進めます。また、**公共施設設計の経験豊かな各担当技術者**や、**まちづくりや市民との対話経験の豊富なまちづくりコーディネーター**を協力者として配置することで、**市民・関係者と一体となってプロジェクトを進行**します。

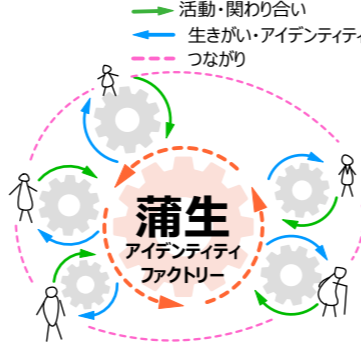
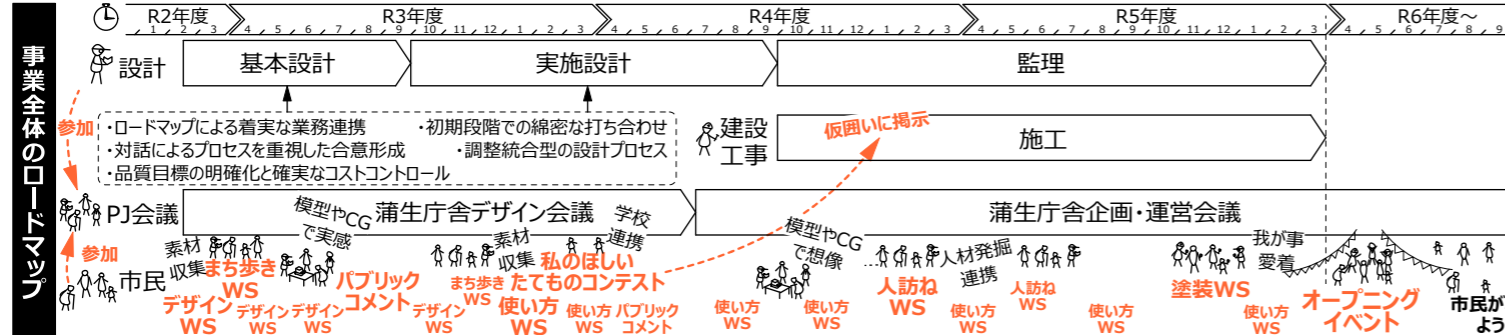
#### 設計工程を含む事業全体のロードマップ

庁舎が有効に活用されるためには、ハード面(建物)と同様に**主体的な市民活動を育むようなソフト面も含めたロードマップを組み立てることが必要**だと考えます。そのために、関係者と協議しながら多様な方策を検討したいと思います。

#### ソフト面も含めた方策の検討

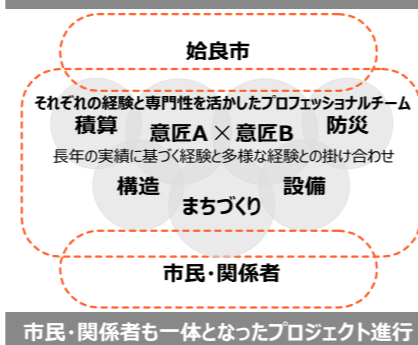
- 設計者、市民、行政で**計画から完成までのプロセスを共有** ・先行事例の研究会や講演会
- 結論ありきの誘導型ではなく**、さまざまな意見を「**設計の密度を上げる契機**」と捉え、総合的に調整を加えていく**調整統合型設計プロセス**の採用
- 運営までを見据えた設計者、市民、行政による**プロジェクト会議**(デザイン会議や企画・運営会議)の実施
- ワークショップ(以後**WS**)や会議、まち歩きなどを通じた**地域資源、人材の発掘や関係性づくり**
- 建物の模型やCGなどを使った「**使い方会議**」 ・小中学校と連携した「**私のほしいたものコンテスト**」
- 実際に施工体験を楽しみ、「**我が事感**」や**愛着**を感じてもらう**塗装WS**や**メンテナンスWS**

最終目標は、建設プロセスの共有と市民参加により、「**自発的に活動が生まれるような、市民と行政(庁舎)とが一丸となった関係性づくり**」です。これは蒲生のような**コンパクトなコミュニティ**だからこそ実現できる可能性を秘めており、蒲生が**持続可能なまち**であるためにも目指す価値があると考えます。



市民が生き甲斐を感じられるようになっていくことで、蒲生のまちのアイデンティティもより新しく、魅力的に生まれ変わり、それが市民のさらなる生きがいへとつながっていきます。

#### 蒲生の「アイデンティティ・ファクトリー」イメージ



市民・関係者も一体となったプロジェクト進行

## 基本課題① 防: 地域防災拠点としての施設

### いかなる時も市民の暮らしを支える「信頼の砦」

#### 様々な災害に対応できる、地域防災拠点機能を備える庁舎

日々、市民に寄り添った行政サービスを提供するとともに、災害等の**非常時にも行政機能を維持し、市民の暮らしを支え続ける「信頼の砦」**としての庁舎を目指します。また、近年のゲリラ豪雨や予測困難な災害、万が一の洪水時にも行政機能を損なわないように配慮します。

#### 地域防災の手法

- 本庁や**他機関との連携**を図る**情報通信設備**を備えた**防災室**の設置 ・災害に迅速に対応できるように**消防詰所**を別棟で**主要道路側に独立配置**
- 備蓄倉庫やサーバー室を**2階に配置** ・サーバー室等は**無停電・床免震構造**とする ・**2階全体を災害時の支援スペース**として利用可能に
- 多目的室**は1階に配置し**駐車場や大クス広場**と合わせて**災害支援活動の拠点**とする ・災害時に**炊き出し**ができる**コミュニティキッチン**や**かまどベンチ**
- 1階にはRC造の腰壁**をまわし、開口部には**防潮板**や**防水シャッター**で**浸水を防ぐ** ・**防潮対策時に施設内**に**出入り**できるように**屋外階段**を設置
- 背面の目立たない位置に**マンホールトイレ**を設置 ・家具や什器等には**転倒**や物の**落下**を防ぐ**耐震金物**等を採用
- 設備として**2回線受電設備**、**非常用発電設備**、**太陽光発電パネル**、**非常用排水槽**、**雨水貯留槽**の採用を検討

#### 十分な耐震性能を有し、安全性の高い庁舎

0.9mモジュールとの相性が良く、効率的な**7.2mグリッドのRCラーメン構造**を基本とします。免震構造は規模や階数から面積あたりのコスト負担が大きいことから、基本的には**耐震構造**としながら、**大地震動後も行政機能を維持するための十分な強度**を確保します。また、必要な部分には**局所的な床免震構造等の採用**を検討し、**設備系統の被害**を抑制します。

## 基本課題② 環: 環境に優しい施設 1: 経済的な施設

### パッシブ手法とアクティブ手法を活用した環境調整型庁舎

自然エネルギーを活用し、**環境負荷の低減に配慮** ライフサイクルコストの縮減、**経済性に配慮**

断熱性能を高めるとともに、**自然エネルギーを積極的に活用**する**パッシブ手法**と、**設備等の新しい技術を取り入れるアクティブ手法**を併用し、**環境負荷を低減**しながら**ライフサイクルコストの縮減**に配慮した、**環境調整型**の庁舎を目指します。

#### パッシブ手法の検討

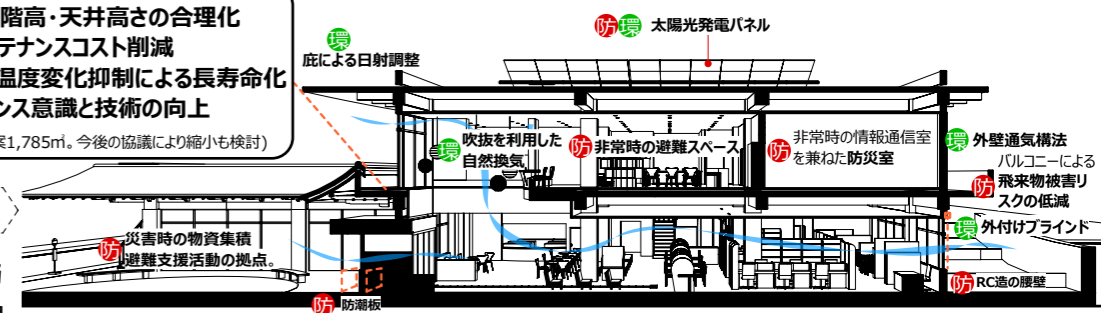
- RCの蓄熱性をメリット化しヒートアイランド抑制にも繋がる**外断熱工法**と**内断熱工法**との**適所採用**及び**高断熱ガラスの標準採用**による熱負荷の低減
- 吹抜けや階段室を**環境ポイド**とした**自然換気**と**自然採光**の活用 ・夜間の冷気取り込みによる**ナイトバージ** ・**雨水貯留槽**による**雨水利用**
- 庇やバルコニーによる**日射調整** ・**西面の開口部の絞り込み**と**外付けブラインド**の採用、**外壁通気構法**等による熱負荷の低減

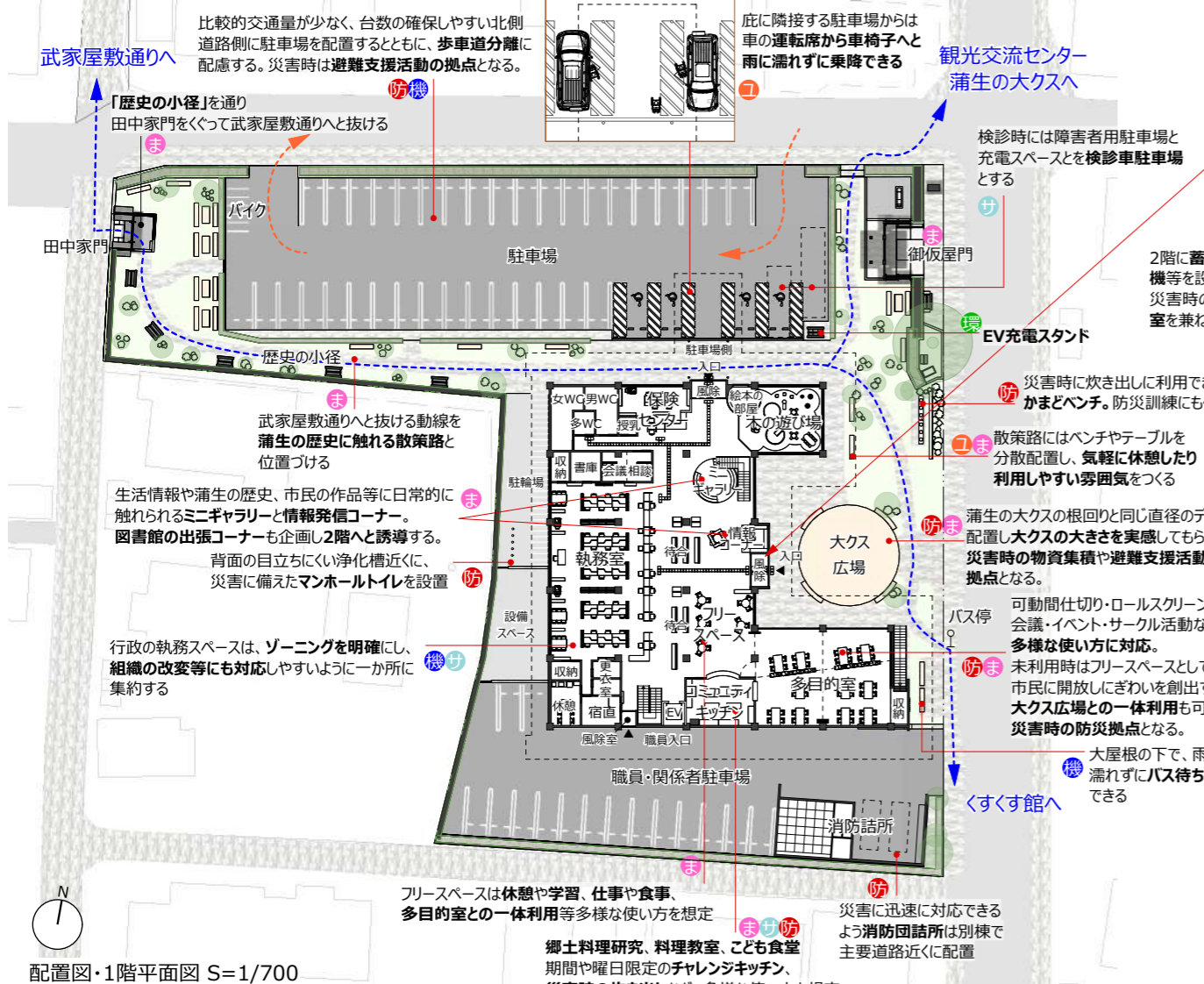
#### アクティブ手法の検討

- 太陽光発電パネル**及び**蓄電池**の設置 ・**全館LED照明**、**人感センサー**・**昼光センサー**の採用 ・**使用エネルギーの見える化**及び**スマート化**
- 高効率ヒートポンプ**、**CO2センサー**、**全熱交換換気システム**の採用 ・**節水型衛生器具**の採用

#### その他コスト削減手法の検討

- 構造の経済スパン**の採用とそれによる**階高・天井高さの合理化**
- バルコニーによる**外壁・ガラス面のメンテナンスコスト削減**
- 耐久性の高い建材**の利用や**躯体の温度変化抑制による長寿命化**
- 住民参加のメンテWS**による**メンテナンス意識と技術の向上**
- 機能共有による床面積の合理化**(現案1,785㎡。今後の協議により縮小も検討)

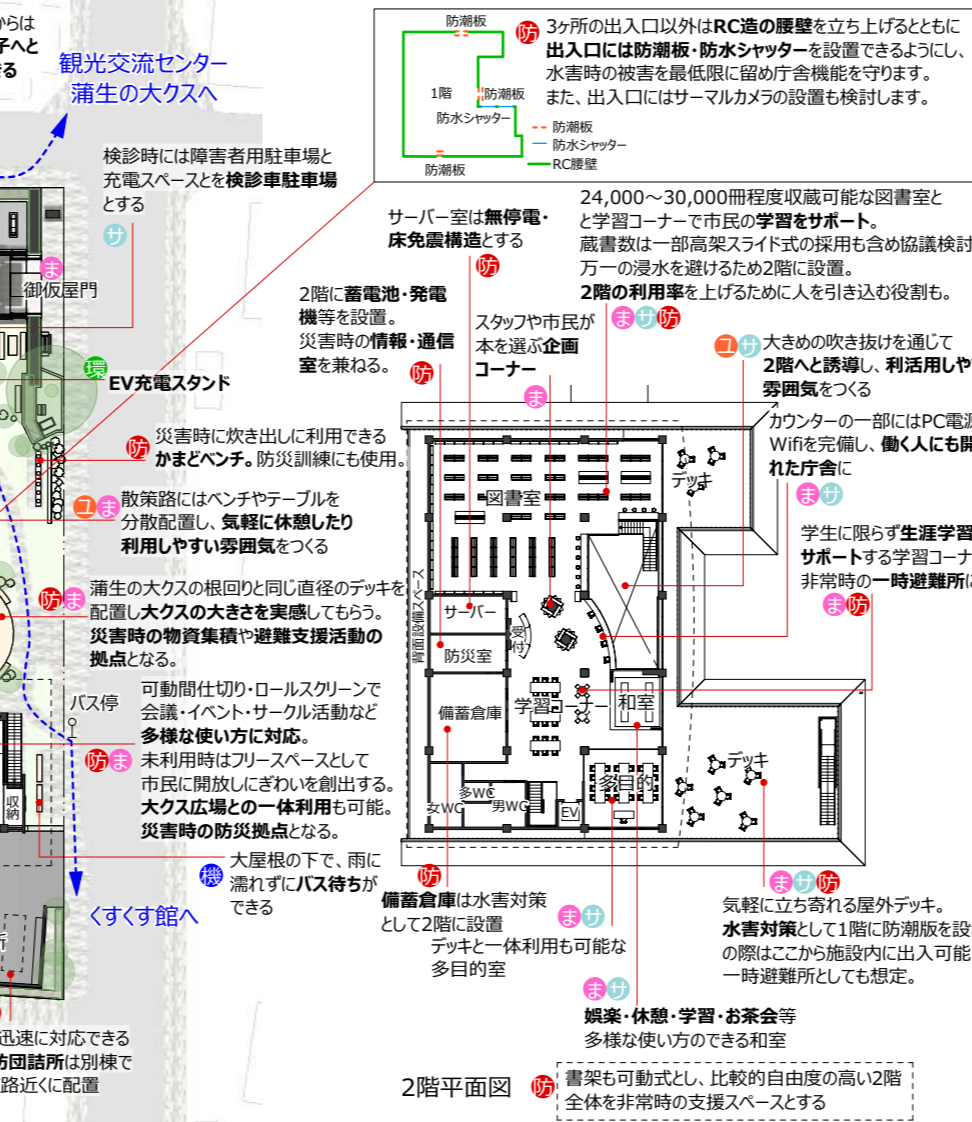
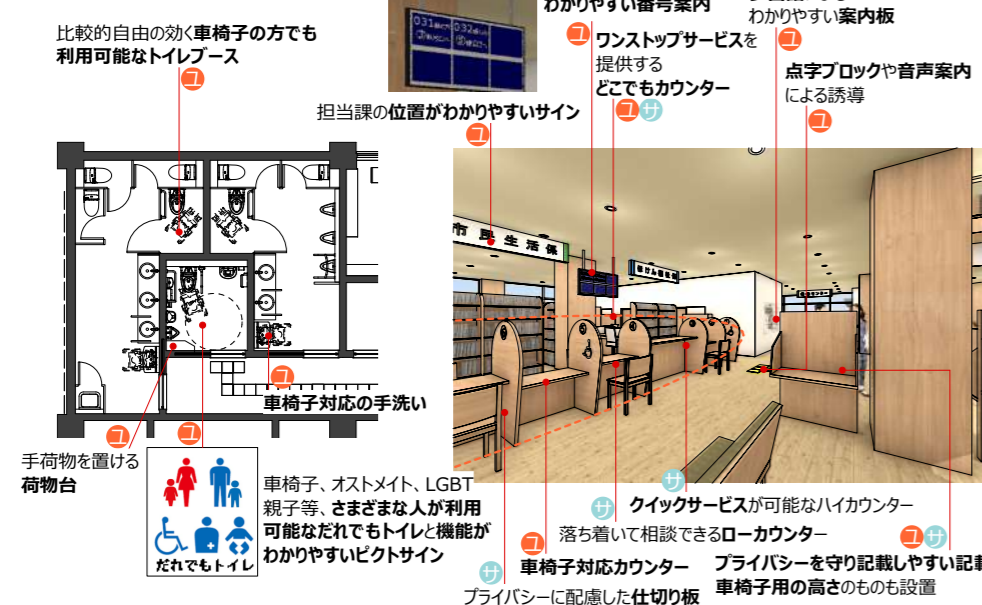




**基本課題③ ⑦**：ユニバーサルデザインを取り入れた、人にやさしい施設  
**すべての人に、使いやすくわかりやすく**

すべての利用者にとって、使いやすい庁舎  
 ユニバーサルデザインの精神に則り、段差のない動線、エレベーターの設置、多様な利用者を想定したカウンター、多様な人の使用が可能なだれでもトイレなど、すべての利用者が使いやすい庁舎を目指します。

すべての利用者にとって、わかりやすい庁舎  
 ユニバーサルデザインの精神に則り、見通しがよく明快な動線、わかりやすいサイン、多言語対応の案内板、点字ブロックや音声案内による誘導など、すべての利用者がわかりやすい庁舎を目指します。



**基本課題④ ⑧**：市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる施設  
**蒲生に住むことに誇りを感じられるような日常を**

市民に開かれた親しみやすい庁舎 市民の活動を支え、まちづくりの拠点となる庁舎  
 市民に開かれた親しみやすい庁舎とすることで、市民の生活に彩りを与え、蒲生に住むことに誇りを感じられるような日常の一端を担う庁舎を目指します。

- 親しみやすい庁舎とするための手法
- 滞り機会の多いロビーにミニギャラリーや情報発信コーナーを配置
  - 大クスを感じさせる広場
  - 閉庁時にも利用でき、さまざまな使い方のできる多目的スペースやフリースペースを分散配置
  - 散歩コースになるような緑と散策路
  - 歴史に触れられる小路と田中家門の活用
  - 気軽に利用しやすいベンチやデッキなどの屋外スペース
  - コミュニティキッチンの設置と活用
  - 多世代が自然に集うような和室
  - さまざまな世代の多様な活動が見える空間構成

また、ハード面の整備だけでなく、設計プロセスの共有やワークショップなどを通じて、市民活動の活性化を支援していきます。

市民の学習や健康推進、子育てを支援するための庁舎  
 市民の生活の根幹をなす、学習、健康推進、子育てを支え、応援する庁舎とします。



**基本課題⑤ ⑨**：市民サービスの向上を実現する施設  
**基本課題⑥ ⑩**：機能性・効率性の高い施設  
**利便性・効率性を高めて市民に活用される庁舎に**

窓口サービスの向上による利便性の高い庁舎  
 窓口サービスを向上し気持ちよく利用できる庁舎にすることで、心理的なバリアを取り払い、市民による活用を促します。また、安価に構築可能なスマートフォン等と連携した利便性の高い案内システムを検討します。

- 窓口サービス向上のための手法
- 使いやすい分かりやすい端末機による番号発行と案内を最適化するシステムの導入
  - スマホアプリや呼び出し端末の貸し出しによる、順番お知らせサービスの提供
  - どの席でも窓口サービスが受けられるどこでもカウンターの採用とワンストップサービスの提供
  - 仕切り板によるプライバシー確保
  - ゆとりのある待合席
  - プライバシーを守り記載しやすい記載台
- ※スマホ連携などにより、庁舎全体が待合室となり、待合時間を施設の利用時間に変わることがあります。

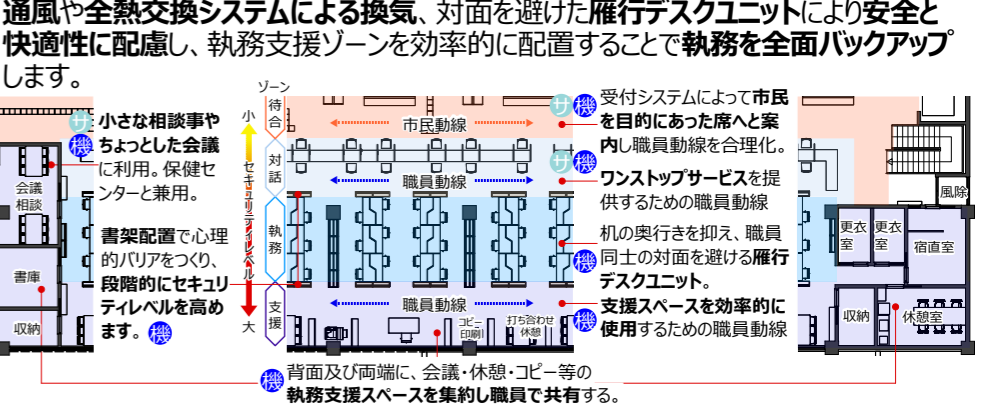
複合機能の導入による利便性の高い庁舎 効率性が高く、機能連携の図りやすい庁舎  
**「機能の複合・連携」「利便性の高いシステムの導入」「連携の可能性を最大限引き出す空間構成」**によってさまざまな使い方のできる利便性の高い庁舎を目指します。また、会議室と多目的室を統合するなどの省スペース化によって、空間の利用効率を高め効率の良い施設とします。



行政組織や市民ニーズの将来的な変化に柔軟に対応できる庁舎  
 本施設が、将来にわたり市民活動の拠点であり続けるためには、行政組織や市民の将来的なニーズに対応できることが大切です。そのために、可変性の高いフレキシブルな庁舎を目指します。

- フレキシブルな庁舎とするための手法
- 平面計画上也汎用性の高い7.2mグリッドを基本とした構造計画及びスケルトン・インフィル方式による可変性の確保
  - 壁による区画を極力抑え、機能を特化しすぎない、緩やかにつながる空間構成とすることで、簡単な仕子の設置や移動、運用方法の調整などで空間の利用方法を細かに調整可能とする
  - 行政組織の改変等にも柔軟に対応できるように、執務スペースを一か所に集約

快適な執務空間の確保された職員の動きやすい庁舎  
 執務室は、動線とゾーニングを明確にすることで、空間を有効利用しつつ、業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。また、行政事務に必要な開放性と閉鎖性をともに満たせるように、書架配置などで段階的にセキュリティレベルを高める配置とします。



特定課題：だれもが安心して気軽に立ち寄れる憩いの場

特定課題：利便性向上及びにぎわい創出に資する、コンパクトなまちづくりの拠点整備

### ここへ来れば何かがある。多機能複合から多機能融合へ

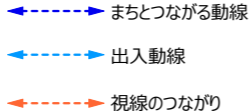
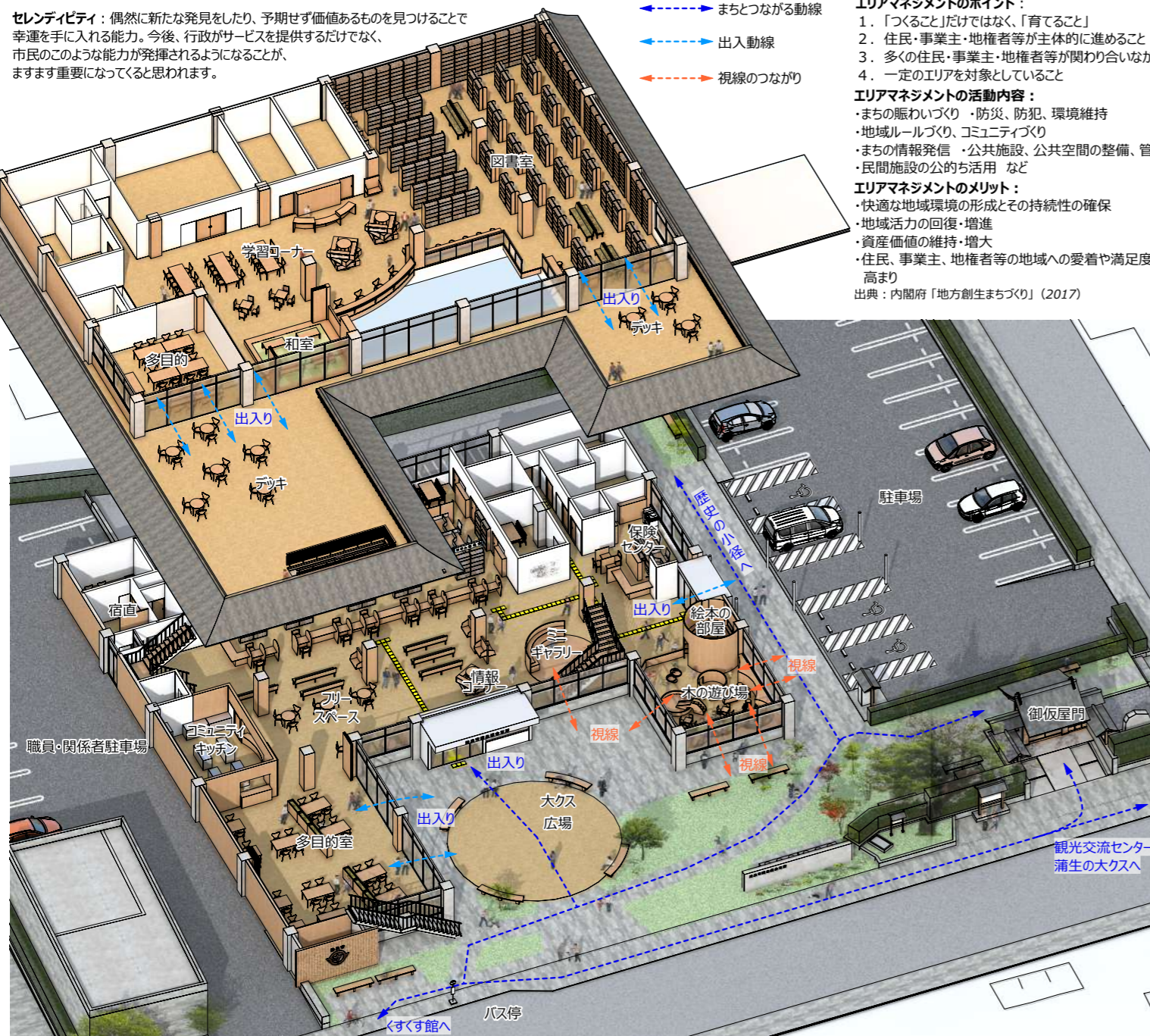
これからの複合庁舎を考える上で、本施設が市民の活動拠点となるためには、機能の足し算としての多機能複合施設であることを超え、機能と空間が重なり響き合う多機能融合施設となることが重要だと考えます。

誰でも気軽に立ち寄れるような、日常の中に溶け込んだ施設とするために、機能と空間とを1対1の対応関係で区切るのではなく、さまざまな機能を空間の中に溶け込ませ、機能による心理的バリアを低減させるよう配慮します。そのために、市民の意見・ニーズを汲み取りながら、さまざまな機能の関係性を吟味し、余白と機能の重なりを生み出すような空間構成をしていきます。

### セレンディピティを刺激する空間構成

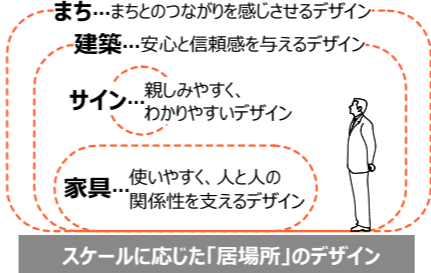
気軽に立ち寄れる場とするためには、入りやすい雰囲気作り、特に活動の視認性が重要となります。そのために、ベンチや椅子・テーブルなどを内外に分散配置するとともに、1階にコミュニティキッチンや子どもの遊び場、フリースペースなど、人々の姿が見えやすい空間を配置したり、吹抜けを通じて2階の様子を感じられるようにするなど、人々がそこでくつろいだり活動している様子が漏れ出るような空間構成を行います。くつろぎ、活動している人々の姿は、市民に対して「この場所が開かれた場所」「さまざまな可能性のある場所」であることを自然に伝えます。そういう人々の姿が市民のセレンディピティを刺激し、自然と新しい活動が生み出され、市民の生きがいへとつながっていく、そのような施設のあり方を追求していきます。

セレンディピティ：偶然に新たな発見をしたり、予期せず価値あるものを見つけることで幸運を手に入れる能力。今後、行政がサービスを提供するだけでなく、市民のこのような能力が発揮されるようになることが、ますます重要になってくると思われます。



### 「居場所」としての空間デザインを徹底する

視認性が高く、セレンディピティの高い施設であることが、まちのにぎわい創出にもつながりますが、そのためには、そこがリラックスできたり、日々のお出かけ先となるような、こころよい「居場所」であることが重要です。その実現のために、それぞれの空間の機能やスケールに応じた「居場所」としてのデザインを徹底していきます。

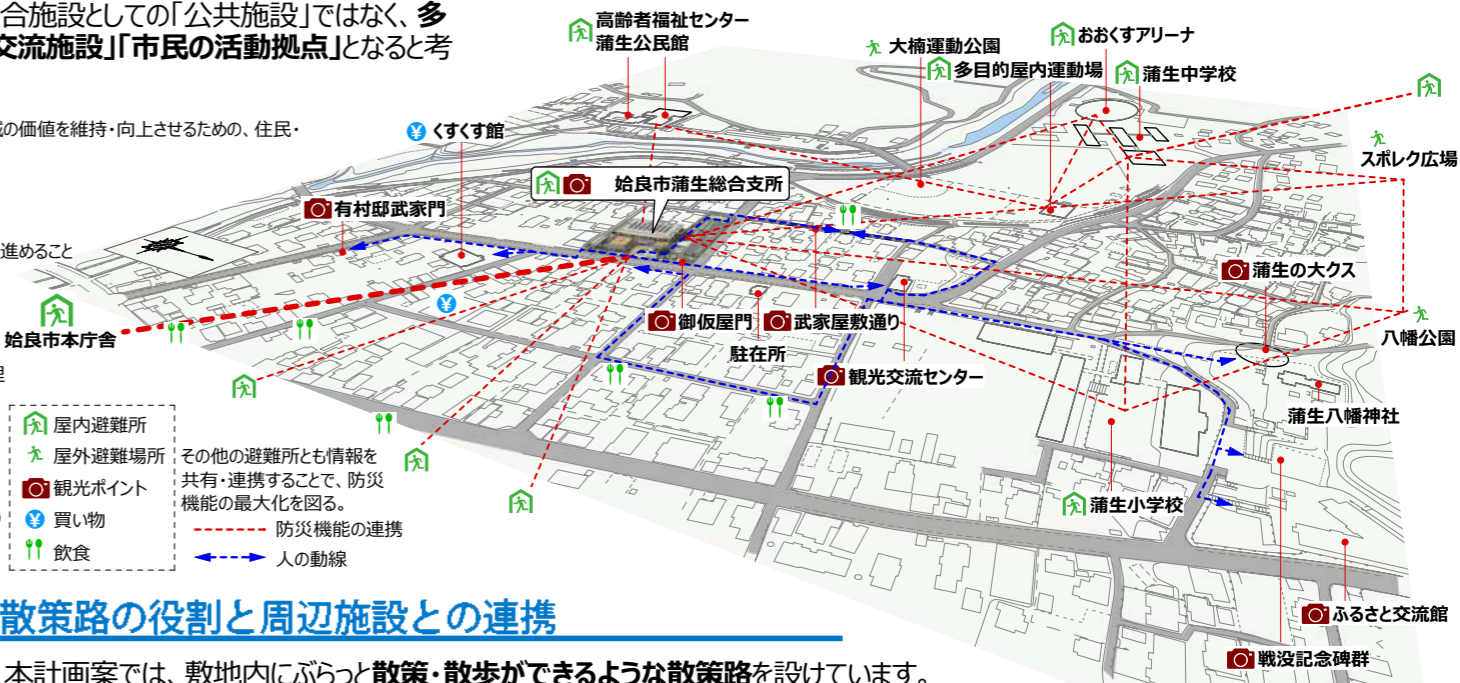


スケールに応じた「居場所」のデザイン

### エリアマネジメントの視点を重視した業務プロセス

本施設が十分に活用され、その機能を発揮するためには、ハードの整備だけではなく、課題やニーズを汲み取り可能性を広げるプログラムの企画や、人材や地域資源の発掘・育成など、ソフト面の整備も重要になってきます。そのため、設計の段階からエリアマネジメントの視点を重視・共有し、本事業の可能性を最大限に拡げられるように様々な関係者と協力しながら業務を遂行していきます。それによって初めて、本施設が、単に多機能複合施設としての「公共施設」ではなく、多機能融合施設としての「市民・地域のための交流施設」「市民の活動拠点」となると考えています。

- ※エリアマネジメント：地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組
エリアマネジメントのポイント：
1. 「つくること」だけでなく、「育てること」
2. 住民・事業主・地権者等が主体的に進めること
3. 多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進めること
4. 一定のエリアを対象としていること
エリアマネジメントの活動内容：
・まちの賑わいづくり・防災、防犯、環境維持
・地域ルールづくり、コミュニティづくり
・まちの情報発信・公共施設、公共空間の整備、管理
・民間施設の公的活用 など
エリアマネジメントのメリット：
・快適な地域環境の形成とその持続性の確保
・地域活力の回復・増進
・資産価値の維持・増大
・住民、事業主、地権者等の地域への愛着や満足度の高まり
出典：内閣府「地方創生まちづくり」(2017)

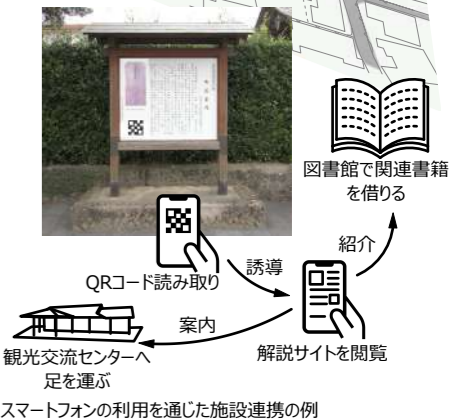


### 散策路の役割と周辺施設との連携

本計画案では、敷地内にぶらっと散策・散歩ができるような散策路を設けています。

散策路の役割
・散策路によって本施設がまちの風景の中に溶け込み、誰もが気軽に立ち寄れる施設であることを感じさせます。散策経路にはベンチやテーブルなど休憩・滞在するための仕掛けを分散配置し、高齢者にもやさしい憩いの場となるように計画します。
・施設内での活動の様子が散策路にも漏れ出すことで、日常の中で他世代や他グループとの活動に触れる機会を提供するとともに、まちのにぎわい創出に寄与します。
・本施設が一つの敷地中で完結するのではなく、生活と観光の両面において、蒲生のまちの流れの中の一つの地点であることを表現することで周辺の施設等との連携を強化します。

また、周辺施設と連携したスタンプラリーや、QRコードを共通デザインで分散配置して、スマートフォンで多言語の施設案内や歴史解説、バーチャルリアリティなどを楽しめるようにするなど、さまざまな連携を考えることができます。(始良市は観光案内アプリ・コソシルと連携の実績もあります。)



木の遊び場で子どもたちが遊んでいる様子を道行く人が眺める。



歴史の小路を歩きながら日常的に蒲生の歴史に触れる。また、小路で歴史への関心を高めながら田中家門をくぐって武家屋敷群へと抜ける。



特定課題：町並みとの調和（敷地内街の歴史文化遺産や景観を尊重し、地域の景観的魅力を育む庁舎）  
 特定課題：蒲生らしさをアピールできる建築デザインや地域のシンボルとなる機能

### 均質で匿名性の高い施設から、まちの顔となる施設へ

従来、公共施設は均質で匿名的な建物として、地域の均質化に資するものが多かったように思いますが、これからの時代を地域が生き抜いていくには、**地域が独自性を持つことがますます重要**となってきます。  
 幸い、蒲生は「歴史と文化」「恵まれた自然」など**地域の個性を色濃く残したまち**と言えます。  
 私達はその**特性（個性）を引き継ぎ、未来へとつないでいくために、蒲生の顔・シンボルとなるような建築**を実現するデザインを行っています。

- 蒲生の歴史を引き継ぎ新しいシンボルとするための手法 —
- ・街並みや近隣に配慮し、2階建ての低層の建物とするとともに、2階部分をセットバックすることで、**圧迫感を低減しつつも、安定感・信頼感を感じさせるデザイン**とする
  - ・1階の下屋部分には御飯屋門の形状・寸法を模した屋根を建て回すことで**まちの景観を尊重**するとともに、**ゆとりある軒下空間を生み出し、風格と懐の深さ、親しみやすさを感じさせるデザイン**とする
  - ・**歴史的な景観を受け継ぐとともに、シンプルで現代的なデザインと組み合わせることにより、歴史の継承と未来への羽ばたきを同時に感じられるデザイン**とする
  - ・日常の中で**歴史に触れられる小路を整備**するとともに、歴史遺産である田中家門を、武家屋敷通りへと抜ける動線を演出するために活用。人々に**歴史を身近に感じさせ、同時に歴史遺産に活躍の場を与える**
  - ・**石畳の散策路と豊かな植栽によって、蒲生の歴史と恵まれた自然を継承・表現**する
  - ・**中央の大クス広場を「蒲生の大クス」の根回りと同じ径とし、それを抱きかかえるような建築デザイン**とすることで、**施設の大きさと比較から大クスの大きさを実感させる**。（AR技術によって、スマートフォン上で実際の庁舎の風景と蒲生の大クスを重ね合わせて表示することも可能）
  - ・**メアサ杉等の地元産杉材を使った圧密フローリングや内装・什器、子どものおもちゃなど、蒲生和紙を使った照明器具など、蒲生の地場材や伝統技術を採用**する
  - ・**蒲生の地場材や伝統技術を使ったワークショップ等のイベントを開催**する
  - ・既存の植栽や縁石などで、**再利用が可能なものは積極的に活用**する

本施設がまちの顔となるためには、**施設が活発に利用され、市民の生活や活動が垣間見えることも重要**だと考えます。



地域のまちなみ、イヌマキ、御飯屋門と呼応し、地域のシンボルとなる建築デザイン  
 白線は蒲生の大クスがここにあったとした場合の想像上のライン



蒲生和紙を使った照明器具やメアサ杉を巻いた柱など蒲生の地場材や技術を活用

特定課題：閉庁時にも柔軟な活用ができる多目的スペース

### 多様な区画ラインの設定による柔軟な施設活用

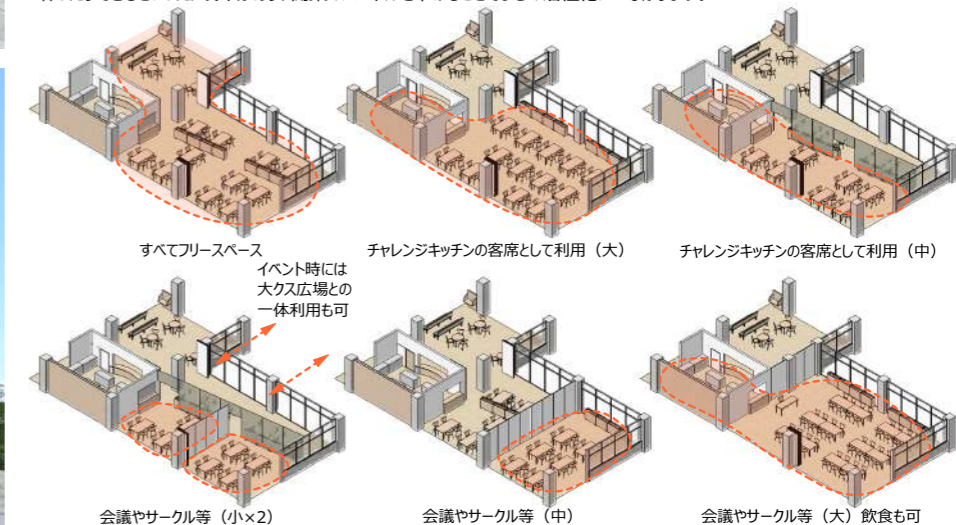
多様な機能を併せ持つ本施設では、閉庁時間での施設利用が見込まれることから、**行政機能とその他機能とのゾーニングを明確にし、柔軟な施設利用が出来るように計画**します。そのため、行政機能とその他機能との間に**閉庁ライン**を設ける他、**いくつかの区画ラインを設けることで、多様な利用形態・利用時間に対応できるように配慮**します。  
 また、時間帯や利用規模によっては、職員用駐車場を開放し**出入りを宿直室前に制限**することも想定しています。  
 また、1階の多目的室にも**可動間仕切りやロールスクリーン、プランターボックス**などにより、**多様なパターン、多様な程度で区画**できるように計画し、多様な使われ方に対応するとともに**市民の活動を誘発**します。

### 活用の要としてのコミュニティキッチン

1階多目的室に隣接して、**多様な使い方を想定したコミュニティキッチン**を計画します。飲食空間は「誰でもそこに滞在して良い」というメッセージを伝え、**人と人をつなげる力**があります。**コミュニティキッチンの積極的な活用が、にぎわいを生み、まちを活性化**する大きな力になると考えます。

- コミュニティキッチンの活用例 —
- ・郷土料理研究や料理教室などによる、**文化の継承や、健康増進、生きがいの共有**
  - ・**日常的なお茶飲み場や高齢者向けのサロン**として居場所の提供
  - ・曜日限定の**こども食堂・みんな食堂**の開催による**多世代交流の機会提供**、**こどものサポートや見守り・高齢化による孤食の解消**
  - ・開業予定者に**チャレンジキッチン**として貸し出し、開業を支援
  - ・イベントでの**ケータリングサービス利用**による料理の提供
  - ・人気店を招待しての**出張レストラン** など

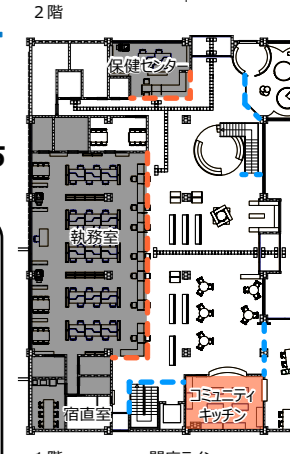
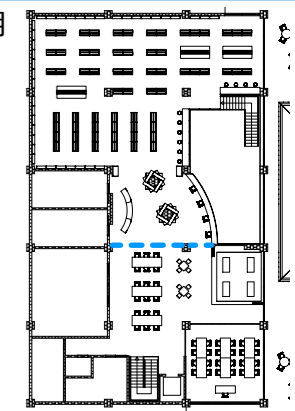
※**チャレンジキッチン**・・・蒲生で飲食店の開業などを予定している人に、条件付きでスペースを貸し出し、支援を行います。メニューや価格などを試してお客さんの生の声を聞いたり、事前にファンを作ったりできるといったメリットがあり、開業のハードルを下げることでまちの活性化につながります。



多目的室とコミュニティキッチンの活用パターン例



多目的室は普段はフリースペースとして開放。軒下空間と一体的に多目的に利用可能



2階

1階

閉庁ライン

利用形態によって使い分け可能な区画ライン